

令和4年度 こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針は職員への周知に個人差があり今後は年度初めに入職した職員をはじめ職員全体で全体的な計画について確認しあう機会が必要であると感じた。教育保育が理念や基本方針に基づいた内容となっているか各年齢の年間計画、月間計画を随時見直しながら教育・保育を行っていきたい。 ・保護者においては、キッズビューアプリや、ホームページ、ハーモニー（地域情報誌）などで伝えている。さらに保育参加、クラス懇談会等を通して実際の保育の場面で具体的に知らせていきたい。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・バスの置き去り事件、不適切保育についての情報が流れたので、バス運航マニュアル、バスチェック表、園児置き去りフローチャートの見直し、重要事項説明書において「虐待はしない」の文語の補足等対策を行った。また職員は、虐待、人権擁護研修を受講し人権を重んじる保育の在り方を再認識した。 ・行事について今年度はコロナ感染状況を鑑みながら、その都度話し合いを重ね方法を模索しながら保護者参加型の行事を開催することが出来た。日程が急遽、変更、延期となる行事もあったが園での教育保育を実際に見ていただくことができ、こども園理解が一步前進したのではと保護者の意見より感じている。 ・1年を通して取り組んでいるテーマ保育から行事の精選を行った。内容を再考し、日々のあそびと行事当日までの過程を大切にしながら子どもの発達、興味に合った活動へとつなげていき、保育教諭主導ではなく子どもを真ん中においた行事へと職員一人ひとりに保育に対する考え方に意識の変化が見られた。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染者（子ども、家族、職員、職員家族等）の情報が入り療養期間、登園基準の確認、現状の子どもの体調変化の把握等各種業務に日々追われた。看護師のサポートが力になった。 ・コロナ禍の食生活において、子どもたちに様々な影響があり食事体制の変更を余儀なくされたが、食事に関しては子ども達の毎日の楽しみのひとつである栄養接種だけでなく保育と連携し、テーマ保育に添ったオリジナルテーマメニューの考案、盛り付けの工夫により豊かな食生活が展開された。乳児クラスは、月齢に合わせて食事時間を変え、ゆったりとした雰囲気心がけ個々の対応をとることができた。また、配慮を必要とする子どもの個食について担当職員と連携をとり子への理解を深め、食事改善に日々努めている。 ・クラス内に留まらず園全体での子どもの育ちの共有を大切にしている。「みんなで子どもたちの育ちを見守りたい」という思いがどの職員からも伺える。今後も引き続き、各種会議等の時間を活用し、共通理解を図っていききたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育ていけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

